

義捐を寄せて
同情を現はせ

伯和西兩時報

二府十八縣へ四十四萬圓の御下賜
の御沙汰を給はつたのであるが、
今更ながら、聖上の赤子を御懐し
み給ふ御慈徳の深きに、恐懼感激
せざるを得ないのである。我々は
幸ひにして至聖の御懐きに依りア
ラカルトニツルムに移り、天災の最も少ない
生活上の必需品を供給しつゝある
其の額の多少の間はずれ捐な寄せ
ておる。此の上なる榮譽として尚
ほ努力をなしき、聖恩の一に酬
ひ奉らんとするものである。

時に英尼の起つた場合、直ちに起
つて救援の精神を現はせばなら
ぬ中にも、今回の如き開西一帯に
起つた大風水害難に對しては、
第四十九條 法律案へ其ノ主旨目
的ニ簡潔ニ説明シタル摘要ト共ニ
之ヲ提出スベシ。同様ニハ成ニ可
能事業ニ對スル既定歲出ニ關
係ナキ事項ヲ含ムコトナ得
サヌ。第四款 諸算ノ編成
ノ目的ニ掲載スベシ

而も亦我々は、此の遂るるトバカ
の間に立ち、事實其の物に據
り開國の親善關係を濃厚ならしめ
ねばならぬのであるが、これと共に
亦、同賛意を常に念頭に置き、
第一回會期ニ於テ再び之ヲ提出ス
ルコトナ得ズ。

第二回會期ニ於テ再び之ヲ提出ス
ルコトナ得ズ。

第三回會期ニ於テ再び之ヲ提出ス
ルコトナ得ズ。

第四回會期ニ於テ再び之ヲ提出ス
ルコトナ得ズ。

第五回會期ニ於テ再び之ヲ提出ス
ルコトナ得ズ。

第六回會期ニ於テ再び之ヲ提出ス
ルコトナ得ズ。

第七回會期ニ於テ再び之ヲ提出ス
ルコトナ得ズ。

第八回會期ニ於テ再び之ヲ提出ス
ルコトナ得ズ。

第九回會期ニ於テ再び之ヲ提出ス
ルコトナ得ズ。

第十回會期ニ於テ再び之ヲ提出ス
ルコトナ得ズ。

第十回會期ニ於テ再び之ヲ

文...藝...欄...

コツボ・デ・レイテの花他

イタケラ
はじめ

香木の原料に採るて、うこの樹木の花は白く月光にうなだれ風情なきさしたる花にはありぬ。蘭花にきく香りは愛でなしコツボ。ア・レイテの樹下に欠伸を喰みたる黒き猫あり惜しくも逃げしタケの花に似つるよく言ひ妻妻との樹の花を仰ぎ

鶏舍のべに枝垂るコツボ。ア・レイテの大いなる花、南薰にゆきなきに尺ばかりなるこの花は夜目にあやしむふらり摘ねたり

花の糸たらしてあれこの花は妻みぞだり香の惜しからめやも

調みそむコツボ。ア・レイテの花いつしかに育き英して實を結び

夢のこそ眞藍を咲けるこの花の下を流れはさびしかりけり

さびしみにコツボ。ア・レイテの花みれば仄かなる蒼さありにけ

るかな

ラバ状のコツボ。ア・レイテの花ほの白く月あらなく匂ひけ

るかも

花、君に横向き咲ける圓筒状、鐵砲百合の花にも似ける

延べ敷ける紙絨じこまはつ夏の地上はなべて青き緑

かまびすしく、こつかこ鳴く朝鶴の群を分け、飼を配りや

にはさりの踏みにじらせ鶴翼の泣きつ、拾ふか白き妻の手

この國の益きにければ綿香の赤緑色の一把を買ひけり

家裏の堆肥の上に一本の菜の花、咲けるはさびしかりけり

三角の秋ある眼を細めつある料亭のねやぢ跡下げに

うの花の下を流れはさびしかりけり

さびしみにコツボ。ア・レイテの花みれば仄かなる蒼さありにけ

るかな

ラバ状のコツボ。ア・レイテの花ほの白く月あらなく匂ひけ

るかも

花、君に横向き咲ける圓筒状、鐵砲百合の花にも似ける

延べ敷ける紙絨じこまはつ夏の地上はなべて青き緑

かまびすしく、こつかこ鳴く朝鶴の群を分け、飼を配りや

にはさりの踏みにじらせ鶴翼の泣きつ、拾ふか白き妻の手

この國の益きにければ綿香の赤緑色の一把を買ひけり

家裏の堆肥の上に一本の菜の花、咲けるはさびしかりけり

三角の秋ある眼を細めつある料亭のねやぢ跡下げに

うの花の下を流れはさびしかりけり

さびしみにコツボ。ア・レイテの花みれば仄かなる蒼さありにけ

るかな

ラバ状のコツボ。ア・レイテの花ほの白く月あらなく匂ひけ

るかも

花、君に横向き咲ける圓筒状、鐵砲百合の花にも似ける

延べ敷ける紙絨じこまはつ夏の地上はなべて青き緑

かまびすしく、こつかこ鳴く朝鶴の群を分け、飼を配りや

にはさりの踏みにじらせ鶴翼の泣きつ、拾ふか白き妻の手

この國の益きにければ綿香の赤緑色の一把を買ひけり

家裏の堆肥の上に一本の菜の花、咲けるはさびしかりけり

三角の秋ある眼を細めつある料亭のねやぢ跡下げに

うの花の下を流れはさびしかりけり

さびしみにコツボ。ア・レイテの花みれば仄かなる蒼さありにけ

るかな

ラバ状のコツボ。ア・レイテの花ほの白く月あらなく匂ひけ

るかも

花、君に横向き咲ける圓筒状、鐵砲百合の花にも似ける

延べ敷ける紙絨じこまはつ夏の地上はなべて青き緑

かまびすしく、こつかこ鳴く朝鶴の群を分け、飼を配りや

にはさりの踏みにじらせ鶴翼の泣きつ、拾ふか白き妻の手

この國の益きにければ綿香の赤緑色の一把を買ひけり

家裏の堆肥の上に一本の菜の花、咲けるはさびしかりけり

三角の秋ある眼を細めつある料亭のねやぢ跡下げに

うの花の下を流れはさびしかりけり

さびしみにコツボ。ア・レイテの花みれば仄かなる蒼さありにけ

るかな

ラバ状のコツボ。ア・レイテの花ほの白く月あらなく匂ひけ

るかも

花、君に横向き咲ける圓筒状、鐵砲百合の花にも似ける

延べ敷ける紙絨じこまはつ夏の地上はなべて青き緑

かまびすしく、こつかこ鳴く朝鶴の群を分け、飼を配りや

にはさりの踏みにじらせ鶴翼の泣きつ、拾ふか白き妻の手

この國の益きにければ綿香の赤緑色の一把を買ひけり

家裏の堆肥の上に一本の菜の花、咲けるはさびしかりけり

三角の秋ある眼を細めつある料亭のねやぢ跡下げに

うの花の下を流れはさびしかりけり

さびしみにコツボ。ア・レイテの花みれば仄かなる蒼さありにけ

るかな

ラバ状のコツボ。ア・レイテの花ほの白く月あらなく匂ひけ

るかも

花、君に横向き咲ける圓筒状、鐵砲百合の花にも似ける

延べ敷ける紙絨じこまはつ夏の地上はなべて青き緑

かまびすしく、こつかこ鳴く朝鶴の群を分け、飼を配りや

にはさりの踏みにじらせ鶴翼の泣きつ、拾ふか白き妻の手

この國の益きにければ綿香の赤緑色の一把を買ひけり

家裏の堆肥の上に一本の菜の花、咲けるはさびしかりけり

三角の秋ある眼を細めつある料亭のねやぢ跡下げに

うの花の下を流れはさびしかりけり

さびしみにコツボ。ア・レイテの花みれば仄かなる蒼さありにけ

るかな

ラバ状のコツボ。ア・レイテの花ほの白く月あらなく匂ひけ

るかも

花、君に横向き咲ける圓筒状、鐵砲百合の花にも似ける

延べ敷ける紙絨じこまはつ夏の地上はなべて青き緑

かまびすしく、こつかこ鳴く朝鶴の群を分け、飼を配りや

にはさりの踏みにじらせ鶴翼の泣きつ、拾ふか白き妻の手

この國の益きにければ綿香の赤緑色の一把を買ひけり

家裏の堆肥の上に一本の菜の花、咲けるはさびしかりけり

三角の秋ある眼を細めつある料亭のねやぢ跡下げに

うの花の下を流れはさびしかりけり

さびしみにコツボ。ア・レイテの花みれば仄かなる蒼さありにけ

るかな

ラバ状のコツボ。ア・レイテの花ほの白く月あらなく匂ひけ

るかも

花、君に横向き咲ける圓筒状、鐵砲百合の花にも似ける

延べ敷ける紙絨じこまはつ夏の地上はなべて青き緑

かまびすしく、こつかこ鳴く朝鶴の群を分け、飼を配りや

にはさりの踏みにじらせ鶴翼の泣きつ、拾ふか白き妻の手

この國の益きにければ綿香の赤緑色の一把を買ひけり

家裏の堆肥の上に一本の菜の花、咲けるはさびしかりけり

三角の秋ある眼を細めつある料亭のねやぢ跡下げに

うの花の下を流れはさびしかりけり

さびしみにコツボ。ア・レイテの花みれば仄かなる蒼さありにけ

るかな

ラバ状のコツボ。ア・レイテの花ほの白く月あらなく匂ひけ

るかも

花、君に横向き咲ける圓筒状、鐵砲百合の花にも似ける

延べ敷ける紙絨じこまはつ夏の地上はなべて青き緑

かまびすしく、こつかこ鳴く朝鶴の群を分け、飼を配りや

にはさりの踏みにじらせ鶴翼の泣きつ、拾ふか白き妻の手

この國の益きにければ綿香の赤緑色の一把を買ひけり

家裏の堆肥の上に一本の菜の花、咲けるはさびしかりけり

三角の秋ある眼を細めつある料亭のねやぢ跡下げに

うの花の下を流れはさびしかりけり

さびしみにコツボ。ア・レイテの花みれば仄かなる蒼さありにけ

るかな

ラバ状のコツボ。ア・レイテの花ほの白く月あらなく匂ひけ

るかも

花、君に横向き咲ける圓筒状、鐵砲百合の花にも似ける

延べ敷ける紙絨じこまはつ夏の地上はなべて青き緑

かまびすしく、こつかこ鳴く朝鶴の群を分け、飼を配りや

にはさりの踏みにじらせ鶴翼の泣きつ、拾ふか白き妻の手

この國の益きにければ綿香の赤緑色の一把を買ひけり

家裏の堆肥の上に一本の菜の花、咲けるはさびしかりけり

三角の秋ある眼を細めつある料亭のねやぢ跡下げに

うの花の下を流れはさびしかりけり

さびしみにコツボ。ア・レイテの花みれば仄かなる蒼さありにけ

るかな

ラバ状のコツボ。ア・レイテの花ほの白く月あらなく匂ひけ

るかも

花、君に横向き咲ける圓筒状、鐵砲百合の花にも似ける

延べ敷ける紙絨じこまはつ夏の地上はなべて青き緑

かまびすしく、こつかこ鳴く朝鶴の群を分け、飼を配りや

にはさりの踏みにじらせ鶴翼の泣きつ、拾ふか白き妻の手

この國の益きにければ綿香の赤緑色の一把を買ひけり

家裏の堆肥の上に一本の菜の花、咲けるはさびしかりけり

三角の秋ある眼を細めつある料亭のねやぢ跡下げに

うの花の下を流れはさびしかりけり

さびしみにコツボ。ア・レイテの花みれば仄かなる蒼さありにけ

るかな

ラバ状のコツボ。ア・レイテの花ほの白く月あらなく匂ひけ

